

# 子どもの悲しみを 受け止めるための ワークブックづくり



講師: 村中李衣さん  
(児童文学作家)

【村中李衣】(むらなか・りえ)

山陽小野田市出身。児童文学作家・児童文学者。ノートルダム清心女子大学教授を経て山口学芸大学客員教授。0歳から100歳までのあらゆる人とあらゆる場所で、絵本の読みあいを続けている。

1984年『かむさはむにだ』(高田三郎/絵 偕成社 1983)で第17回日本児童文学者協会新人賞、1985年『小さいベッド』(かみやしん/絵 偕成社 1984)で第32回サンケイ児童出版文化賞、1990年『おねいちゃん』(中村悦子/絵 理論社 1989)で第28回野間児童文芸賞、2013年『チャーシューの月』(佐藤真紀子/絵 小峰書店 2013)で第53回日本児童文学者協会賞、2017年「長期入院児のための絵本の読みあい」で第1回日本絵本研究賞、2020年『あららのはたけ』(石川えりこ/絵 偕成社 2019)で第35回坪田譲治文学賞、2022年『こくん』(石川えりこ/絵 童心社 2019)でJBBY賞(バリアフリー図書部門)、令和6年度山口県文化功労賞(文芸/児童文学)受賞。

山陽小野田市立中央図書館で行われている「ぬいぐるみの図書館おとまり会」にヒントを得た物語『よるのとしよかん だいぼうけん』(北村裕花/絵 BL出版 2015)、『哀しみを得る 看取りの生き方レッスン』(かもがわ出版 2017)、『はじめよう! ブックコミュニケーション』(伊木洋/共著 金子書房 2019)、『女性受刑者とわが子をつなぐ絵本の読みあい』(村中李衣/編著 中島学/著 かもがわ出版 2021)、『立ちあう保育: だから「こぐま」にいる』(相沢和枝/共著 ミズノ兔ブックス金子書房 2024)など著作多数。

2025

1/12日 13:30~15:00

山陽小野田市立中央図書館

2F 視聴覚ホール

山陽小野田市栄町 9-13 ☎0836-83-2870

対象: 子どもの本に興味のあるおとなの方

定員: 20名(要申込・先着順)

参加費: 500円(当日受付にて)

申込: こどもと本ジョイントネット 21・山口

090-3636-2617(山口)

090-2008-9467(山本)

jointnet2000@gmail.com

※メールでの申込は、件名を村中カレッジとし、PCからの返信が受信できるように設定してください

団体広報用や子どもゆめ基金への報告用にイベント中の写真や動画撮影行います。広報用に、HP・SNS・刊行物に掲載することがあります。それ以外の目的では使用しません。なお、子どもゆめ基金への報告用に提出した個人情報(写真)は「(独)国立青少年教育推進機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。ご了承ください。

主催:

こどもと本ジョイントネット 21・山口

後援: 山陽小野田市立中央図書館、山口県子ども文庫連絡会